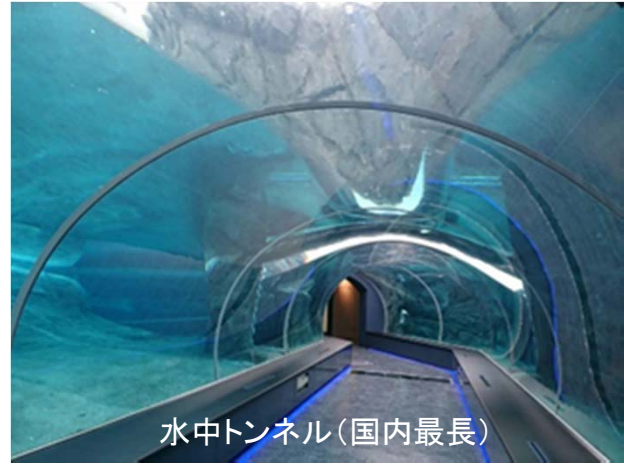


円山動物園ホッキョクグマ館のオープンについて 平成30年3月13日(火)オープン

平成30年3月8日 環境局円山動物園



ホッキョクグマ館全景(国内最大規模)



水中トンネル(国内最長)

1 ホッキョクグマ館建設の経緯

国内で飼育するホッキョクグマの飼育頭数は減少傾向にあり、遺伝的多様性の確保が困難な状況です。このため、海外から新規個体を導入し、更なる繁殖を推進するため、世界的な施設基準(アメリカやカナダ)を満たす獣舎を建設しました。

《国内飼育頭数》

21園館 41頭 (2016年末)

※ピーク時は、33園館 67頭 (1995年)

2 ホッキョクグマ館の概要

(1) 建築費

約23億円 (うち市債約17億円、宝くじ約5億円)

(2) 施設構造

鉄筋コンクリート2階建

(3) 施設規模

施設		面積(m ²)	プール 最大深さ(m)
ホッキョクグマ	メイン放飼場※	1,406	3.7
	サブ放飼場(寝室棟内)	154	1.8
アザラシ	メイン放飼場	166	4.7
	サブ放飼場	59	0.7
延床面積(観覧者エリア等)		1,537	-

※放飼場…飼育動物の展示場

3 飼育動物と展示方法

ホッキョクグマ (4頭)	「デナリ(♂24歳)」、「ララ(♀23歳)とリラ(♀3歳)の親子」及び「キャンディ(♀25歳)」をそれぞれ交代でメイン放飼場で展示する予定 ※既存の放飼場には、メイン放飼場で展示していない個体が入る予定
ゴマフアザラシ (4頭)	ゴマフアザラシをメイン放飼場で展示する予定 ※ゼニガタアザラシは高齢のため、サブ放飼場で飼育する予定

4 施設の特徴

(1) 動物が生き生きと暮らせる工夫をしています。

- ホッキョクグマの放飼場の面積が**約5倍**
(約300㎡⇒約1,500㎡)
- ホッキョクグマのプールの深さが**約2倍**
(1.8m⇒3.7m)
- アザラシのプールの水量が**約10倍**
(約50トン⇒約500トン)

※このほか、ホッキョクグマのメイン放飼場の地面をこれまでのコンクリートから土に変え、この上に柔らかい芝を張り、起伏を設けるなど、飼育動物が生き生きと暮らせる工夫をしています。



外放飼場

(2) 観覧者が様々な角度から楽しめる工夫をしています。

- 水中を観覧できる**18m**のトンネルエリア
※国内では上野動物園と日本平動物園が採用しています。
- ホッキョクグマのメイン放飼場を一望できるエリア
- ホッキョクグマがダイブする様子を観察できる半水位エリア



トンネル付近を泳ぐホッキョクグマ

(3) 環境について学んでもらえる工夫をしています。

- ホッキョクグマの生態や、気候変動がホッキョクグマに及ぼす影響等を紹介するサイン看板
- ホッキョクグマを深く理解する教育プログラムが実施できるレクチャールーム



生態、保全等のサイン看板

5 近年の繁殖状況 (全て父親はデナリ、母親はララ)

平成7年	アメリカ合衆国からデナリ転入
平成8年	大分県からララ転入
平成15年	ツヨシ ♀ (よこはま動物園)誕生
平成17年	ピリカ ♀ (旭山動物園)誕生
平成20年	イコロ ♂ (上野動物園)と キロル ♂ (釧路市動物園)誕生
平成22年	アイラ ♀ (おびひろ動物園)誕生
平成24年	ポロロ ♀ (とくしま動物園)と マルル ♀ (熊本市動植物園)誕生
平成26年	リラ ♀ (円山動物園)誕生

※()は、現在の飼育している動物園

6 オープニング記念式典

ホッキョクグマ館のオープンに先立って幼稚園の園児や、日ごろ動物園を応援している企業の方達をお招きし、オープニング記念式典を開催します。

- (1) 日時
平成30年3月13日（火曜日）10時30分
- (2) 場所
ホッキョクグマ館前
- (3) 出席者（予定 約80名）
 - ・ 市長
 - ・ 円山動物園ボランティア会会長
 - ・ 円山町内会連合会会長
 - ・ 宮の森大倉山連合町内会会長
 - ・ 園児 等
- (4) 次第（予定）
 - 10：30 開式
 - 10：33 来賓紹介
 - 10：35 市長挨拶
 - 10：42 テープカット、久寿玉割り
 - 10：45 閉式
- (5) その他
一般来園者のホッキョクグマ館への入館は11時からとさせていただきます。



7 ホッキョクグマデザインの年間パスポートの発売

ホッキョクグマ館のオープンを記念して、新施設のプールを泳ぐホッキョクグマ（デナリ）をデザインした年間パスポートを発売します。

- (1) 日時
平成30年3月13日（火曜日） 9時30分～
- (2) 場所
正門、西門券売場
- (3) 料金
1,000円
- (4) 利用方法
利用開始日から1年間有効



問い合わせ先
環境局円山動物園経営管理課 梅原、藤井
電話：621-1426、ファクス：621-1428